

## 市民文教委員会 市内現地視察③報告

提出日 令和2年 8月 21日

提出者 市民文教委員会委員長 眞下隆史

日 時： 令和2年8月18日（火） 9：00 ～ 10：40

視察先： 令和2年度第1回舞鶴市保幼小連携研修会（保育参観）

場 所： 舞鶴市立うみべのもり保育所

参加者： 眞下委員長、小谷副委員長、石束委員、鴨田委員、川口委員、  
田村委員、水嶋委員、事務局書記

### 『調査内容』

#### 保幼小連携研修会の傍聴

- ・オリエンテーション
- ・公開保育
- ・カンファレンス・グループワーク



### 『委員からの所管等』

○舞鶴市では乳幼児教育ビジョンを策定し、「みんなでつながり育む舞鶴の子ども」との基本理念のもと、主体性を育む乳幼児教育に取り組み、実践されている様子の一端ではあるが、参観させていただき、子ども達が楽しく、元気にのびのびと遊んでいる様子と、保育士さんの大変さが印象に残った。子ども達の主体性を育むには、「環境を通しての乳幼児教育」と「遊びを通して総合的に指導」を進めることが必要であり、「教科書がない」「一斉に同じ内容を学ぶのではない」とのオリエンテーションでの話があり、まさしく「人が人を育てる」先生方の頑張りにあるのかなと感じた。このような研修会を通して保幼小が連携し、学び合うことの必要性を強く感じた。

○保育現場で頑張っておられる先生方が、働きやすい職場・環境を整えることが、未来の宝である子ども達を育てることにつながると感じるため、今後ICT等の先端技術の活用による事務負担の軽減、乳幼児教育を担う人材確保のため処遇改善に努めながら、乳幼児教育センターによる保育士への学習機会や、情報提供を積極的に進める取組が必要であると感じた。

○本市では、乳幼児教育の基幹である乳幼児教育センターが2019年4月から設置されており、質の高い乳幼児教育が公立私立ともに実施されているところであり、全国的に見ても先進的で、本日の視察における保育参観においても、子ども達の年齢に応じて、主体的で自発的な乳幼児教育が実施されていることが分かった。

- 乳幼児教育には小学校のように教科書がなく、一斉に同じ内容を学ぶわけではないことから、子ども達それぞれの特性を伸ばすよう工夫されており、その乳幼児教育を表現するならば「自由空間」であった。
- 保幼小連携研修会について、2019年2月に策定された「まいづるカリキュラム015」に沿って、連携活動に係る研修・公開授業や保育が実施されているものと承知している。上記のとおり、質の高い乳幼児教育がどのように行われ、そしてどのように活かしていくかという点が重要であり、小学校の教員が実際に乳幼児教育の現場（逆に然り）を目で見て、肌で感じとる機会は極めて大切であると感じる。
- 本年4月に小中学校の学習指導要領が改定され、乳幼児教育と小学校以降の教育がつながるようになったことから、今後、より一層お互いの教育方法を知る機会を持つことが求められるほか、幼児・児童についても安心して小学校生活が送れるよう、連携活動をより充実されることが求められると考える。
- 質の高い乳幼児教育が行われているからこそ、本市で発生している待機児童問題を解消することが早急に求められる。質の高い乳幼児教育の実施は、保育士にとって非常にやりがいがある反面、負担が大きいという側面も見受けられ、保育士不足の要因を解消するため、業務効率化などの働き方改革や、保育資格を有する潜在保育士に対するPRなどに今以上に力点を置き、子どもや保護者にとってより充実した受け入れ態勢を構築し、子ども達を一人も取りこぼすことなく育てていただきたい。
- 参観したうみべのもり保育所では、発達障害・身体障害の園児も十数名おられたが、園児が主体的に行動をすることから個人の自由も確保され、他の園児との距離感を気にせず、自ら選択したお遊びの中から学び、保育士さんは更に次の興味や関心の手助けをされている。本市の乳幼児教育の中では、もちろん保育士さんの専門性が必要であるが、いわゆる健常者や発達障害や身体障害の園児を、一度に分け隔てなく保育と教育ができる、大変先進的であり更なる発展を夢見ることができる取組である、期待感の持てる事業と感じた。
- 研修会の特徴的な部分では、乳幼児教育の在り方と実践方法について、学校教育を推進する先生方に深く理解していただく機会を設けることで、それぞれの教育方針・内容や目的の違いを共有し、0歳から18歳までを視野に入れた新学習指導要領に沿って、子ども達の育成を目指されていると感じた。
- 小学校以上での教育には教科書があり、ある程度決められたカリキュラムに沿って、子ども達の成長が確認できる一方で、保・幼の教育では教科書などはなく、自発的に遊びを通して興味などが示せるよう、五感を育む教育を主にされており、子ども達一人一人の想像力の発達を注意深くしている、そのような違いがあることにも気づきがあった。

- 近年では、本市独自の保幼小で統一した接続カリキュラムが出来たことにより、小学校の教員が持っていた乳幼児のイメージ・先入観がなくなり、子ども達の成長・教育を引き継ぐ上でも、このような研修が欠かせないともお聞きし、理解を深める機会となった。
- 園児に対する保育士さんの対応で大変感心させられたのは、園児一人一人の主体性を育むための接し方や話し方で、園児から話しかけられたときに保育士さんが「なんで？」の問いかけが多かったことである。ついつい大人は、先走った答えや、都合のいいように誘導する返答をしがちであり、それでは納得がいかない暗記になり、主体性を育む事にはならないが、本市の乳幼児教育の実践（現場）を見ると一目瞭然で、主体性を育むために園児本人が考える誘導を、保育士さんが話し方で誘導されており、大変高度な技術を使って取り組まれていることが、先進的であり感心する。
- 参加された小学校教員に話を伺ったが、乳幼児教育には教科書がなく、学力の到達度や達成度が設定されていないところが、小学校との大きな違いであるとのこと。例えば「廊下は走らず歩きましょう」と指導しても理解できない子どももいる。何度注意しても守らない。ケガするから危ないということが理解できない。小学校で言うルールを守る教育との違いがあると話されていた。乳幼児期の育ちが将来大人になってからの、人格形成に大きく影響を与えていると言われていたため、5歳児には規律やしつけを通じて「他人を思いやる気持ち」「ルールを守る」など、就学前教育も大切であると感じる。また、学びに向かう力・人間性等についての評価をされていないのが、今後の連携について気になるところである。
- 乳幼児教育開始後、2回目の保幼小連携研修会と伺っており、参加された校長先生にお伺いすると、中学校から小学校に来たばかりなので、本日は参加したと言われていた。今後は、小学校・中学校のトップである校長先生の理解も大切になると考えており、是非校長先生の保育参観を実施していただき、垣根を取り除いて本市の保幼小の連携、小中一貫教育が更に充実し、他市の見本となるような、本市独自の教育体制を築いていいたきたいと思う。
- 本年2月に聴講した、乳幼児教育ビジョン推進事業報告会で見聞した事項、保育士の方々からお聞きした事項について、今回の保育参観によって子どもたちの姿、保育士の方々の姿を拝見させていただき、保育現場を間近に感じる事ができた。
- 0歳から5歳児それぞれのクラスの多様な指導の取組、園児たちの積極的で元気いっぱい活動に触れ、先進的に取り組まれている本市の乳幼児教育の有用性を再認識した。それゆえ、本取り組みを発展・継続していくためにも、待機児童解消、保育士の確保、保育施設・教材の充実を早急に図るとともに、乳幼児教育センター機能を持続させていくことに、傾注する必要があるものと思料する。

○コロナ禍の、また暑い中いろいろな配慮をしながらの何日かだったと思われる中、公開保育をしてくださり、ありがたく思う。お話は聞かせていただいていたが、実際に子ども達の様子を見たのは初めてで、自ら動く・能動的に動くという保育で、子ども達が生き生きと遊んでいる姿を目の当たりに感じさせていただいた。そして、子ども達の言葉を聞き逃さないようにと、子どもに接されている保育士さんたちのご労苦は、如何ばかりかと察するところである。深い研究があつてのこの乳幼児教育と思うので、議員も資料などを今以上勉強し、また現場にも足を運び参加させていただきたいと思う。

○小学校教員を含めたグループワークでは、保育参観をすることで小学校教員自身が初めての気付きや、2学期に向け参考になったとの意見が上がり、保幼小の連携研修会の意義が大きかったことがうかがえる。参加された教員の方々は、各学校で保幼小連携の担当となっているようで、役割として参加されたことを各学校へ持ち帰り、他の教員にしっかりとフィードバックすることや、今後も研修会を多くして経験人数を増やすなど、全員の教員が共有できる仕組みが必要である。しかしながら、本年当初の予定とは異なり、コロナ禍によって変更が余儀なくされ、今後の研修会等の実施が困難になるとの報告に、とても残念な思いである。

○子どもたちの主体的な発想・行動を誘導するためには、興味や関心を得られる様々なアイテムが必要になり、うみべのもり保育所ではティッシュボックスや牛乳パック等の廃材が大量に活用されており、備品の予算に制限がある中、保護者が参画できる物品で、対応する工夫がされていると感じた。今後は事業が継続できるように、これまでの取組を目で見える形で報告・保存し、事業のさらなる発展につながるよう推進していただくことを切に願う。



以上、大変お世話になりました。